

# 高校野球 秋季大会 回顧

来年3月23日に開幕する第91回選抜高校野球大会の出場校選考で重要な資料となる全国10地区の秋季大会を振り返った。

## ▽北海道

札幌大谷が初優勝した。札幌第一との決勝は、八回に5点を挙げて逆転勝ち。準決勝も7-6で延長戦を制し、接戦で強さを見せた。札幌第一は4試合で36得点と打力が光った。駒大苫小牧と釧路湖陵が4強入りした。

## ▽東北

八戸学院光星が5年ぶりの頂点に立った。準々決勝と準決勝を連続完投した後藤を軸に、4試合全てで3失点以下。打線も効果的に得点し、総合力の高さが際立った。準

## 光星 5年ぶり頂点 総合力の高さが際立つ

◇上◇

つた。4強には花巻東(岩手)と千川(宮城)が入った。

## ▽関東

桐蔭学園(神奈川)が24年ぶりに栄冠をつかんだ。1回戦で逆転サヨナラ勝ちし、勢いに乗った。準々決勝、準決勝では伊礼が完投。つなぐ打撃で勝ち上がり、春日部共栄(埼玉)との決勝では、森が2本塁打と長打力を見せた。春日部共栄は村田が攻守でチームを引っ張った。4強には習志野(千葉)と山梨学院が入った。

## ▽東京

国士舘が白須、山崎を軸とした継投を武器に、10年ぶりに優勝した。打線は決勝で一回に4点を奪った集中打が光った。東海大菅生は頂点を逃したが、中村晃が完投能力の高さを示した。東亜学園、早実が4強。

の延長十回に佐々木がサヨナラ安打を放った。

JR東海は七回に4点差を追い付き、延長十二回タイブレークの末、7-6でホンダ(埼玉)を下し、NTT西日本も延長十二回タイブレークの末に6-3で三菱日立パワーシステムズ(神奈川)を振り切った。